

水素製造・利活用 ポテンシャル調査

大日本コンサル
NEDO事業に採択

大日本コンサルタントら4者は27日、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する「水素製造と利活用ポテンシャル調査」事業に共同提案し採択を受けたと発表した。地下資源である石炭地下ガス化（UCG）や木質バイオマスを活用した水素

製造の可能性を探る。調査期間は約1年間を予定する。

採択事業は▽太平洋興発▽室蘭工業大学▽北海道三笠市▽大日本コンサルの4者が共同提案した。UCGと木質バイオマスを使った水素製造、貯蔵・輸送の可能性を調査する。大日本コンサルは水素の利活用に

向けた市場調査などを担い、水素製造や貯蔵・輸送などを残る3者が検討する。

三笠市では石炭埋蔵量が約7・5億トと試算されている。採択事業を通じて4者はUCGの有効利用や二酸化炭素（CO₂）の回収・貯蔵技術を確立し、脱炭素社会の実現に貢献する。